

第 142 回エイズ動向委員会

委員長コメント

《平成 27 年第 2 四半期》

【概要】

1. 今回の報告期間は平成 27 年 3 月 30 日～平成 27 年 6 月 28 日までの約 3 か月
2. 新規 HIV 感染者報告数は 267 件 (前回報告 221 件、前年同時期 276 件)
そのうち男性 254 件、女性 13 件で、男性は前回 (203 件) より増加、前年同時期 (263 件) より減少、女性は前回 (18 件) より減少、前年同時期 (13 件) と同数
3. 新規 AIDS 患者報告数は 118 件 (前回報告 100 件、前年同時期 120 件)
そのうち男性 114 件、女性 4 件で、男性は前回 (94 件) より増加、前年同時期 (116 件) より減少、女性は前回 (6 件) より減少、前年同時期 (4 件) と同数
4. HIV 感染者と AIDS 患者を合わせた新規報告数は 385 件

【感染経路・年齢等の動向】

1. 新規 HIV 感染者：
 - 同性間性的接触によるものが 169 件 (全 HIV 感染者報告数の約 63%)
 - 異性間性的接触によるものが 63 件 (全 HIV 感染者報告数の約 24%)
そのうち男性 53 件、女性 10 件
 - 静注薬物によるものは 3 件 (うち、その他に計上されているものが 2 件)
 - 母子感染によるものは 1 件
 - 年齢別では、20～40 代が多い。
2. 新規 AIDS 患者：
 - 同性間性的接触によるものが 67 件 (全 AIDS 患者報告数の 57%)
 - 異性間性的接触によるものが 27 件 (全 AIDS 患者報告数の 23%)
そのうち男性 24 件、女性 3 件
 - 静注薬物によるものは 1 件 (うち、その他に計上されているものが 1 件)
 - 年齢別では、40 代前後が多い。

【検査・相談件数の概況 (平成 27 年 4 月～6 月)】

1. 保健所における HIV 抗体検査件数 (速報値) は 24,030 件
(前回報告速報値 23,778 件、前年同時期確定値 29,238 件)
自治体を実施する保健所以外の検査件数 (速報値) は 7,546 件
(前回報告速報値 7,667 件、前年同時期確定値 8,691 件)
2. 保健所等における相談件数 (速報値) は 34,658 件
(前回報告速報値 32,602 件、前年同時期確定値 38,922 件)

【献血の概況 (平成 27 年 1 月～6 月)】

1. 献血件数 (速報値) は、2,464,119 件 (前年同時期速報値 2,511,475 件)
2. そのうち HIV 抗体・核酸増幅検査陽性件数 (速報値) は 27 件 (前年同時期速報値 36 件)
10 万件当たりの陽性件数 (速報値) は、1.096 件 (前年同時期速報値 1.433 件)

《まとめ》

1. 今回は、H I V検査普及週間を含む四半期であった。前回に比し、新規H I V感染者報告数、新規A I D S患者報告数は増加した。
2. 新規H I V感染者は20～40代、新規A I D S患者は40代前後で報告数が多いが、幅広い年齢層において報告が認められた。性別・年齢を問わず、H I Vに感染する可能性がある。適切な予防策により感染を予防することが可能であり、また重要である。
3. 早期発見は個人においては早期治療、社会においては感染の拡大防止に結びつくので、今後も保健所等の無料・匿名H I V抗体検査および相談を積極的に利用していただきたい。